



岐阜県就農支援センターの概要

(冬春トマトの新規就農者育成研修施設)



GLOBALG.A.P.

The Global Partnership for Safe and Sustainable Agriculture

GGN4059883858372



岐阜県就農支援センター設置の目的

新規就農をするには、栽培技術や農地の取得、施設整備等が必要であり、行政、農業関係者、生産者組織等が一体となり支援することが重要です。

岐阜県では、このような支援体制を構築し、県下の各産地へ波及させていくためのモデルとして、平成26年4月に、冬春トマトの新規就農者を育成する「岐阜県就農支援センター」を設置しました。

施設名称等

名 称／岐阜県就農支援センター
所在地／海津市海津町平原1165
敷地面積／23,342㎡
運営主体／岐阜県
運営開始／平成26年4月

施設整備費

●平成25年度／156,647千円
うち補助金 60,000千円
(国事業名：新規就農・経営継承総合支援事業)
(農業者育成支援事業)
●平成26年度／113,658千円

施設概要

- トマト独立ポット耕栽培研修ハウス／
3,456㎡(1,728㎡×2棟) 間口7.2m×6連棟、奥行40m、軒高3mを2棟整備
10a当たりポット数／2,400株 暖房機、ミスト、光合成促進装置、循環扇
- 土耕栽培ハウス／432㎡ 間口7.2m×3連棟、奥行20m、軒高3m
- 事務・研修棟／木造平屋建て 247㎡
- 作業棟／鉄骨平屋建て 126㎡



GAPへの取組み

同センターは、研修者や産地のGAP※1教育と普及を目的として、国際水準であるGLOBAL G.A.P.※2の認証を取得しました(平成31年4月11日)。

GLOBAL G.A.P.
The Global Partnership for Safe and Sustainable Agriculture
GGN4059883858372

※1 GAP(農業生産工程管理)

「Good(良い)」「Agricultural(農業)」「Practice(実践)」の略で、食品安全、労働安全、環境保全など持続可能な農業を実践すること。

※2 GLOBAL G.A.P.

ドイツに本部を置く非営利組織FoodPlusが運営するGFSI(世界食品安全イニシアチブ)により承認を受けた国際水準のGAPで、EUを中心に商取引に利用されている認証制度。



研修ハウス 3,456㎡(1,728㎡×2棟)



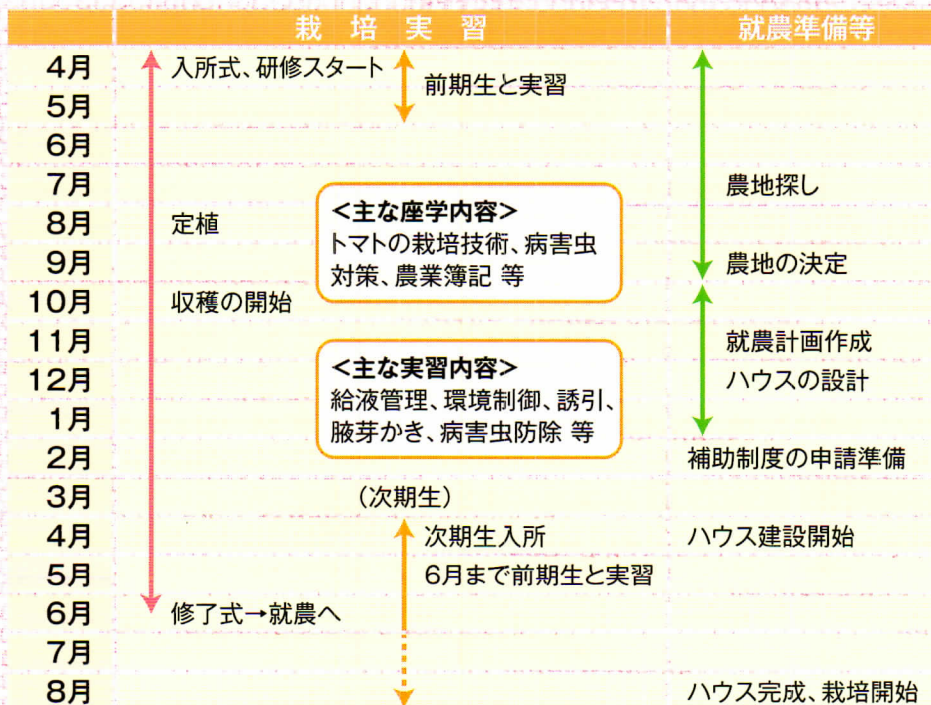
事務・研修棟

研修概要

- **研修期間** / 4月中旬から翌年6月中旬までの14か月
- **研修定員** / 4名（毎年募集）
- **応募資格** / 満18歳以上の方（研修開始年の4月1日現在）
研修修了後、岐阜県内での就農が可能な方
- **研修内容** / 岐阜県が開発した「トマト独立ポット耕栽培システム」による「冬春トマト」の栽培技術と農業経営に必要な知識、技能等について、講義・栽培実習等を交えて研修を実施
- **視察研修** / トマト独立ポット耕栽培及びGAPの取組について



研修スケジュール



就農に向けての支援

- **就農支援会議の設置**
 - <支援体制>** 研修者ごとに「就農支援会議」を設置し、就農・営農定着の支援を実施
 - <構成員>** 研修者、農業者、全農岐阜県本部、就農希望地を所管する農林事務所（農業振興課・農業普及課）・J A ・市町村で構成
 - <実施方法>** 研修開始前に設置し、研修と並行して、農地の確保、地元との調整、就農計画の作成、補助制度等の申請手続き等、就農に向けた支援を実施



トマト独立ポット耕栽培

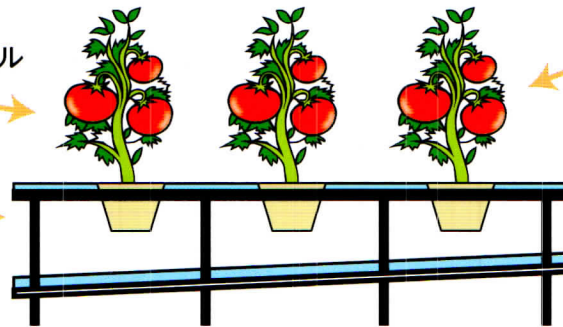
特徴

- ① 岐阜県農業技術センターが開発した技術
- ② トマトがそれぞれ独立したポットで生産され、自動制御で養液を供給
- ③ 通常の土耕栽培に比べ、高い収量が可能
- ④ 栽培方法がマニュアル化されており、栽培技術の習得が容易

高収量

- コンパクトな草姿
- 容易な生育コントロール

システムイメージ図



独立ポット

- 有機質培地の使用
- 不織布製ポットの使用
- 少量培地

排液回収

ベンチ栽培

(高さ50cm)

人に優しい

- 接木栽培の必要がない
- 収穫位置が高くなり、作業姿勢が改善される

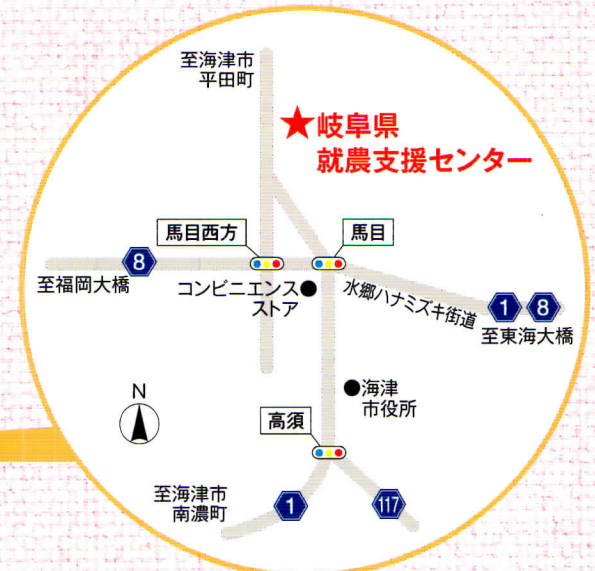
環境に優しい

- 培地量が少なく省資源である(1.2L/株)
- 肥料の流出が少ない
- 土壌消毒の必要がない

トマトに優しい

- 病原菌の侵入を抑制できる
- 独立ポットにより、病害の拡大を抑制する
- 培地の温度調整が容易なので、気候の影響を受けにくい

岐阜県就農支援センターへのアクセス



- 〈東名阪自動車道から〉 ● 名古屋方面 弥富ICより約20分 ● 四日市方面 桑名東ICより約20分
 〈名神高速道路から〉 ● 名古屋方面 羽島ICより約20分 ● 大阪方面 大垣ICより約20分
 〈最寄駅〉 ● 養老鉄道養老線駒野駅よりタクシーで約10分 ● JR岐阜羽島駅よりタクシーで約20分

問い合わせ先

岐阜県就農支援センター

(岐阜県農業経営課担い手対策室就農研修係)

〒503-0651 岐阜県海津市海津町平原1165 TEL/FAX 0584-53-0175
 E-mail c11419@pref.gifu.lg.jp HP <http://gifutomato.jp/>

